

亜熱帯 美ックリ レンズ



やんばるに暮らす
生き物たちの素顔
写真と文 久高将和

オオコノハズク *Otus bakkamoena*

沖縄に生息する小型のフクロウの仲間。時折ネコのような鳴き声を発することからマヤァーチクク(ネコみたいなミミズク)と呼ぶ地域も有る。

このオオコノハズクを含めフクロウの仲間は、夜の生活者ながら古くから県民にとっては身近な存在であったようで、逸話にも良く登場する。一般に知られているのは沖縄のお年寄りの口から出てくる「ムンヌシラシ(モノの知らせ、またはお告げ)」といわれるものであるが、このような逸話の伝承も薄れつつある。

久高 将和 (くだかまさかず)

1951年沖縄県東村生まれ 国頭村在住 写真家・環境カウンセラー やんばるの自然や生活文化を地元ならではの視点で撮影し紹介する傍ら、「やんばる国頭塾」を主宰し、やんばるの地に育まれた生活文化に学ぶツールの確立を目指し精力的に活動している。